

|   |   |  |
|---|---|--|
|  | <h1 style="text-align: center;">桜っ子だより</h1> | <p style="text-align: right;">北第二小学校<br/>学校通信<br/>R5.9.15<br/>No.8</p> |
|---|---|--|

## 全国学力・学習状況調査分析について

4月18日に、全国学力・学習状況調査が行われました。本校でも6年生が、国語、算数、児童質問紙の調査を受けました。国（文科省）から結果が示されました。全国の平均と比較して、本校の結果分析と対応策をお知らせします。○は、よかったところ、●は課題となっているところです。

### 国 語

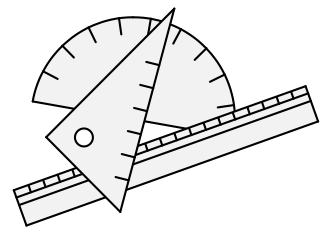
○話し手が伝えたいことを考えながら聞いたり、必要なことを質問したりする問題や、書かれた文のよさを見つける問題で高い正答率でした。これは、友達と意見を交流したり、出来上がった文章を読みあったりする「学び合い」の活動の成果であると考えます。今後も友達の意見に触れたり、自分の意見を伝えたりする学習活動に継続して取り組み、思考力、表現力の向上に努めていきます。



●文の中で適切な漢字を使ったり、自分の考えをまとめて書いたりする問題については、低い正答率でした。書き表す力の向上のために、たくさんの文章に触れたり、読書をしったりする機会を設け、そこから得た知識を自分の表現として活かせるような学習活動を積極的に取り入れていきます。

### 算 数

○「（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る」「百分率で表された割合について理解する」「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述する」問題が全国平均より高い正答率でした。数値の読み取り、百分率の意味、表や棒グラフ等の読み方など問題解決の素地となる知識・技能を低学年から積み重ねてきた成果と考えます。今後も児童が問題解決の拠り所となる数学的な知識・表現を定着させるとともに、どの部分からそのように考えたのか根拠を明らかにすることを大切にしながら指導を行います。



●「台形の意味や性質について理解している」「正三角形の意味や性質について理解している」「（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える」「“以上”の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る」問題が低い正答率でした。図形に関する問題ではいずれも全国を下回る結果となりました。見た目のイメージだけで図形を捉えるのではなく、図形の構成要素に着目し、実際に操作したり調べたりしながら丁寧に指導し、図形の意味や性質を基に見通しをもって判断できるような指導をしていきます。また、筆算ができるという技能面だけではなく、筆算を具体物や図と関連付けて考察したり、具体物の操作や、図で考えた結果を式に表したりすることで、筆算を式と関連付けて考察できるよう指導していきます。

### 児童質問紙（生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査）

<全国と比較して、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童が多かった項目>

- 毎日同じくらいの時刻に起きている。
- 学校に行くのは楽しい。
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。

○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。

○国語の勉強は好きである。

○国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる。

○算数の勉強は好きである。

＜全国と比較して「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」と答えた児童が多かった項目＞

●いじめは、どんな理由があってもいけないことである。

●普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

●読書が好きである。

●今すんでいる地域の行事に参加している。

●地域や社会をよくするために何かしてみたい。

●学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。

●授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。

●算数の勉強は大切である。算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

●英語の勉強が好きである。これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった。

◇「今までの授業でPCやタブレットなどICT機器を週3回以上使用した」という質問に対して、本校の児童は、全国や群馬県と比べてとても高い傾向でした。しかし、「授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PCやタブレット端末などのICT機器を勉強のために使っているか」という質問に対して、本校の児童は「30分より少ない」「全く使っていない」と回答した児童が全国や群馬県と比べて多いという結果でした。2学期以降は、タブレット端末の持ち帰りを行い、タブレット端末の活用機会の拡充や家庭学習支援の充実に向けて取り組んでいきたいと思えます。

◆学習した内容を、見直しをしたり、他の学習に生かしたりしながら、自己の学習をよりよくしていく力（自己マネジメント能力）に課題があることがわかりました。今後は学習カードやチャレンジノートを有効活用しながら、自己マネジメント能力の育成に取り組んでいきたいと思えます。

本日6年生には個別の結果を配付しました。本調査は6年生が実施したものですが、1年生から5年生までの学力や学習の定着状況を知るためのものです。今後、この結果を生かして児童のよいところをさらに伸ばし、課題となっているところは、学校全体で子供達とともに考えながら取り組んでいきます。これからも、家庭・学校・地域で協力して「一人一人の笑顔が輝く北第二小学校」をめざしていきたいと思えます。ご理解とご協力をお願い致します。